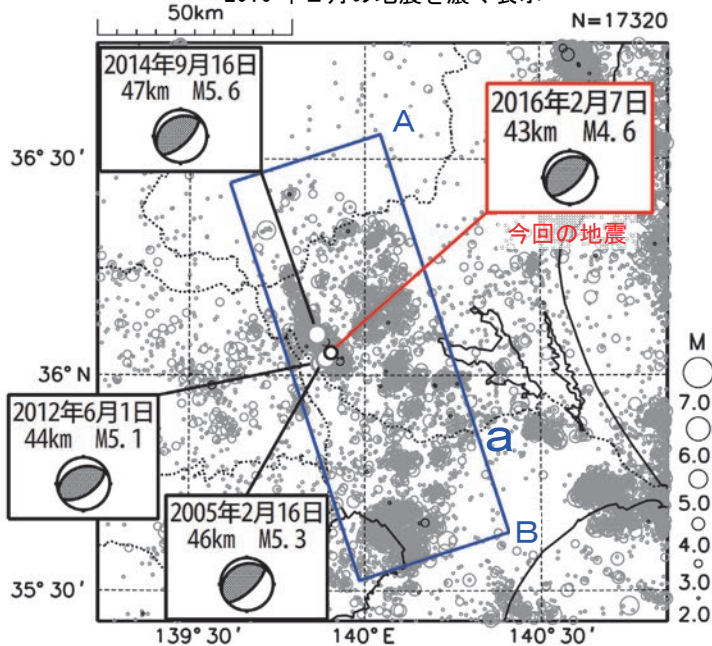


2 月 7 日 茨城県南部の地震

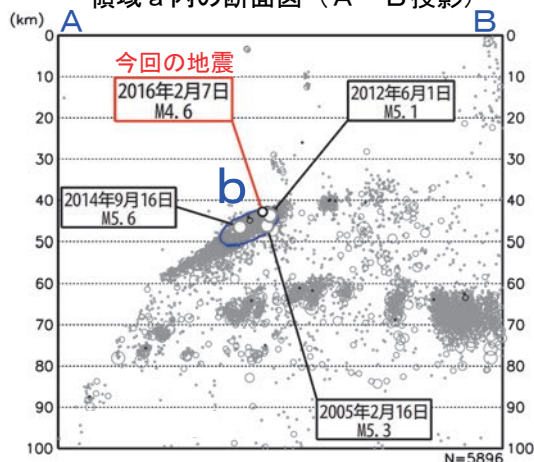
震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2016 年 2 月 29 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 2.0$)

2016 年 2 月の地震を濃く表示

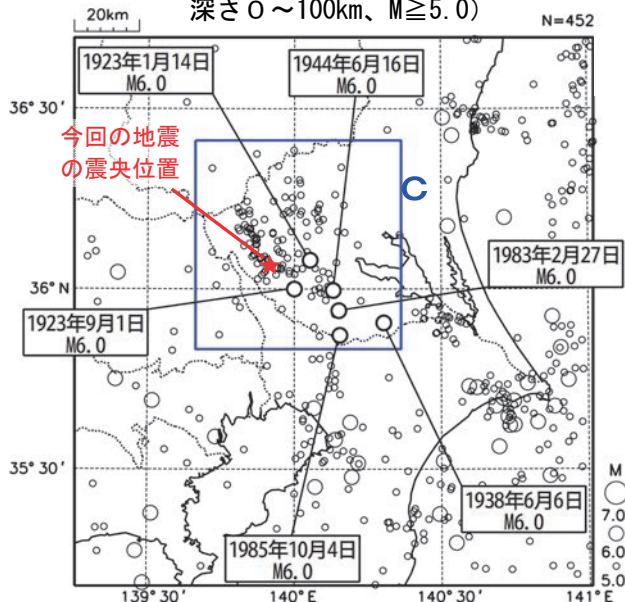


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2016 年 2 月 29 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)

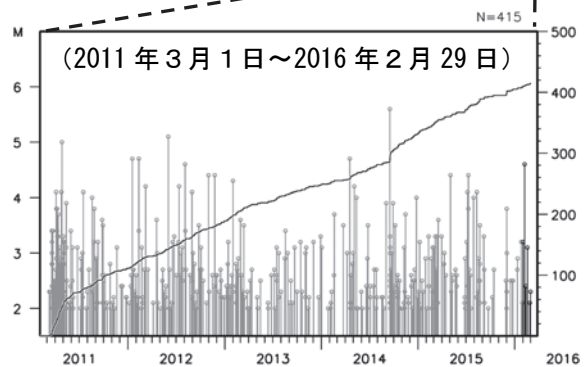
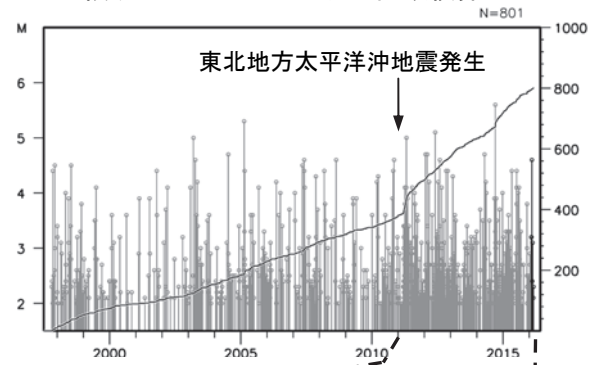


2016 年 2 月 7 日 19 時 26 分に茨城県南部の深さ 43km で $M 4.6$ の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、活動が活発な領域で、 $M 5$ 程度の地震がしばしば発生している。「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動がより活発になっており、最近では 2014 年 9 月 16 日に $M 5.6$ の地震 (最大震度 5 弱) が発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M 6$ 程度の地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

